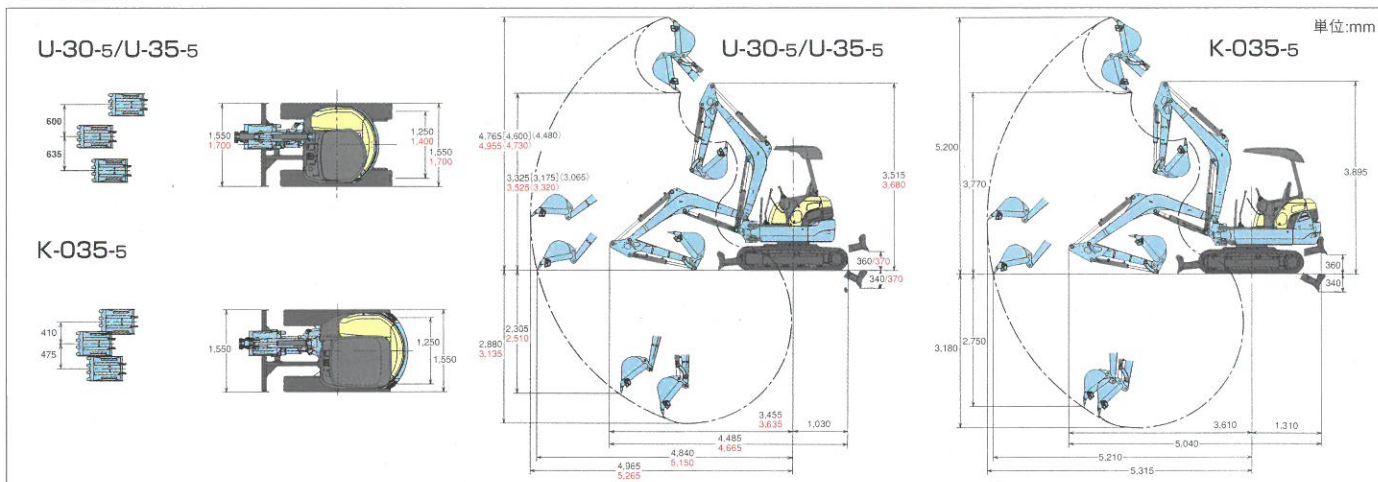


■ 作業範囲図



※黒文字はU-30-5・赤文字はU-35-5。※[ ]内は4ポストキャピ仕様。※〈 〉内はキャピ仕様。

■ 仕様

型 式		U-30-5	U-35-5	K-035-5
バケット容量(新JIS山積)		0.09m <sup>3</sup>	0.11m <sup>3</sup>	
標準バケット幅(サイドカッタ含む/含まず)		480/430mm		
機械質量		2,990 [3,050]〈3,110〉 kg	3,360 [3,420]〈3,510〉 kg	3,200 [3,265]〈3,350〉 kg
機体質量		2,450kg	2,800kg	2,630kg
機体寸法 (輸送時)	全長	4,485mm	4,665mm	5,040mm
	全高	2,350 [2,440]〈2,440〉 mm		
	全幅	1,550mm	1,700mm	1,550mm
	最低地上高	290mm		
エンジン	エンジン区分	クボタ水冷3気筒D1703-EDM		
	形式	D1703-M-E3-BH-1	D1703-M-E3-BH-3	D1703-M-E3-BH-5
	総排気量	1,647L(1,647cc)		
掘削性能	定格出力/回転数 <sup>*1)</sup>	20.0kW(27.2PS)/2,150rpm		
	最大掘削高さ	4,765 [4,600]〈4,480〉 mm	4,955 (4,730) mm	5,200mm
	最大ダンプ高さ	3,325 [3,175]〈3,065〉 mm	3,525 (3,320) mm	3,770mm
	最大掘削深さ	2,880mm	3,135mm	3,180mm
	最大垂直掘削深さ	2,305mm	2,510mm	2,750mm
	最大掘削半径	4,965mm	5,265mm	5,315mm
	オフセット量(右/左)	600mm/635mm		
	最小フロント旋回半径(スイング時)	1,950 (1,560) mm	1,960 (1,570) mm	2,055mm
標準シュー	最小後端旋回半径	790mm	850mm	1,310mm
	最大掘削力(爪元)	26.5kN(2,700kgf)	27.6kN(2,810kgf)	27.6kN(2,810kgf)
	標準シュー形式	ゴムクローラ		
	シュー幅	300mm		
	クローラ全長	2,100mm		
走行部	タンブラ中心距離	1,665mm		
	クローラ中心距離	1,250mm	1,400mm	1,250mm
	走行速度(1速/2速)	3.0/4.6km/h		
	登坂能力	30°以上		
旋回速度	排土板(幅)	9.0rpm	8.9rpm	8.9rpm
	排土板(高さ)	1,550mm	1,700mm	1,550mm
	リフト量(GL上/下)	360/340mm	370/370mm	360/340mm
油圧ポンプ形式	可変ポンプ(2×38.7L/min) +ギア(20.9L/min)	可変ポンプ(2×38.3L/min) +ギア(20.4L/min)	可変ポンプ(2×38.3L/min) +ギア(20.4L/min)	
旋回モータ形式	ピストンモータ			
走行モータ形式	ピストンモータ:2F			
燃料タンク容量	40L		50L	
作動油量	41L(全量)/33L(タンク内)			

※[ ]内は4ポストキャピ仕様。※〈 〉内はキャピ仕様。\*<sup>1)</sup>出力は、JIS B8003準拠グロス値です。

株式会社クボタ URL: <http://www.kenki.kubota.co.jp>

- 建設機械事業推進部 枚方市中宮大池1-1-1 ☎ 072 (890) 2885  
 (株)クボタ建機北海道 北広島市大曲工業団地3-1 ☎ 011 (377) 5511  
 (株)クボタ建機東日本 さいたま市桜区西堀5-2-36 ☎ 048 (865) 5181  
 東北統括部 名取市田高字原182-1 ☎ 022 (384) 2144  
 (株)クボタ建機西日本 伊丹市奥畑5-10 ☎ 072 (781) 7715  
 大阪統括部 和泉市上代町996-1 ☎ 0725 (45) 2299  
 中部統括部 一宮市観音町1-1 ☎ 0586 (73) 1235  
 北陸統括部 白山市下柏野956-1 ☎ 076 (274) 9606  
 中国統括部 呉市広多賀谷3-4-10 ☎ 0823 (72) 0235  
 四国統括部 丸亀市飯山町下法寺90 ☎ 0877 (98) 0277  
 (株)クボタ建機九州 熊本市八幡5-16-23 ☎ 096 (358) 6100  
 三光クボタ建機(株) 熊本市長嶺東6-30-30 ☎ 096 (380) 8411

製品の詳しいご相談は下記までご連絡ください。

●本カタログに記載されている仕様は予告なく変更させていただくことがあります。  
 ●ブレーカ作業をする時は「車両系建設機械(解体用)運転技能講習」終了証が必要です。